

「ほら、かわいいでしょう!」班に分かれて作った自信のステーキカップ。「盛り方が大切ですね」とみなさんの声



オージー・ビーフを取り扱う担当者から、今回使用するもも肉は厚さ2cmがステーキに最適な厚みだと教わりました



焼いたら
休ませることも
忘れずに

見て!見て!
かわいく
できました!

早速SNSで
友だちにも
見せたいな

実際に自分たちで オージー・ビーフを焼いたり 調理することで 学んだことはいっぱい!

下準備も大切。「2cmの肉を家で焼いたことなんてなかつたけど、こんなに簡単に焼けてうれしい」と満足げ



カラフルで
食欲が出るね!

カップの表面からの見た目を確認しながら、盛り付けます。「インスタに合いそう」「自宅でも作ってみようかな」と生徒さん



肉汁が浮かび上がってくる様子を間近で確認。焦げないように気をつけながら、じっくりと火を通していきます



富川先生が肉を焼き始めると、みんな興味津々で覗き込みにきます。肉を返すタイミングを教わりました

ステーキカップをつくろう

レッソバービー

カロリー 402Kcal

材料(5カップ分)

- バービーソースレシピ
ライム果汁 50g
グリーンペッパー 2g
エクストラバージン
オリーブオイル 20g
塩 2g
ミント 8g

作り方

オージー・ビーフもも肉ステーキ、バジルマッシュポテト、ペーパーリーフ、アルファルファ、ライムスライス、ミント、上記のバービーソース。



赤身肉ステーキの上手な焼き方

材料

牛赤身肉ステーキ(1人前)
オージー・ビーフ ももステーキ肉... 200g
(厚さ2cm程度)
サラダオイル、塩、こしょう

ポイント

裏返したり、焼き終わりの
タイミングは、肉の表面にうっすら
肉汁が浮かんできたとき。

焼き方(ミティアムレア)



準備

肉を室温に戻して、焼く直前に塩、こしょうをふっておく

①熱く熱したフライパンで、塩、こしょうをした肉を強火で1分焼く。その後、弱火にしてさらに1分焼く。②肉を裏返して、強火で約30秒焼き、その後、約1分半~2分焼く。③バットにとって、そのまま肉を休ませる。

比べてみると



厚さ1cmと2cmのステーキを比べてみると、肉汁、おいしさ、焼いた感じの肉質感など、2cmのほうが高評価で、トータルでも2cmの方がおいしいという評価となった。

厚さ2cmのステーキ 厚さ1cmのステーキ
※兵庫栄養調理製菓専門学校栄養士科の
実習参加生徒によるアンケート結果。

協力／MLA豪州食肉家畜生産者事業団
<http://www.aussiebeef.jp/>



牛赤身肉 オージー・ビーフを/ 上手に焼いて、さらにおいしく!

牛赤身肉のオージー・ビーフが一番おいしく食べられる焼き方とは?を、
兵庫栄養調理製菓専門学校の准教授・富川美紀先生と栄養士科のみなさんが検証。
今どきのインスタ映えするステーキカップにもトライしました。



実習前には、オージー・ビーフを取扱うMLA豪州食肉家畜生産者事業団の担当者から、オージー・ビーフは日本へ一番多く輸出していて、学校給食でも多く使われていることを教わりました。また、広大な牧草地で育てる牧草牛であり、筋肉質で脂肪の少

オージー・ビーフの 魅力を学ぼう

栄養素がたくさん詰まった牛赤身肉

のオージー・ビーフ。今回は、兵庫栄養調理製菓専門学校の准教授・富川美紀先生と栄養士科のみなさんに協力してもらい、牛赤身肉のオージー・ビーフステーキのおいしい焼き方と、ステーキカップづくり体験実習を行いました。

日本へ一番多く輸出していて、学校給食でも多く使われていることを教わりました。また、広大な牧草地で育てる牧草牛であり、筋肉質で脂肪の少ない赤身肉だということも知りました。その後、富川先生による焼き方のデモンストレーション。肉は室温に戻してから、塩、こしょうをふって準備。熱く熱したフライパンに置いたら、最初は強火、その後弱火にして焼き、肉表面にうっすらと肉汁が浮き上がったらひっくり返す合図。裏返して焼き、また表面に肉汁が浮かんだらバットに移して、ゆっくり休ませることもポイントと教わりました。

みんなも実際に、厚さ1cmと2cmの肉を焼き、食感や味わいなどを比較。やはり2cmの肉の方がおいしいことを体感しました。その後は、生野菜やマッシュポテトを使って、鮮やかなステーキカップづくりを行い、試食。みんなから自然と笑顔がこぼれました。

高吸収率のヘム鉄、亜鉛、ビタミンB12をたっぷり含んだ牛赤身肉は、女性の美と健康の味方。普段から積極的に食べたいですね。



ステーキカップは3種類。初めてのステーキ内の食べ方にみんな驚き



兵庫栄養調理製菓専門学校は栄養士科、調理師科、製菓衛生師科などがあります



私たちが
挑戦しました